

順天堂大学練馬病院外科だより

歯 科：周術期等口腔機能管理について

「**周術期等口腔機能管理**」とは、主にがん等に係る手術や治療を行う患者に対して、医師と連携して包括的な口腔健康管理を行うことを指します。近年、**口腔内細菌と全身疾患との関連性**が明らかになってきており、口腔機能管理の重要性が認識されるようになりました。特にがん治療前からの口腔管理は、がん治療中の菌性感染症発症のリスクを低下させることがわかっています。当科では、悪性腫瘍、心臓血管疾患、

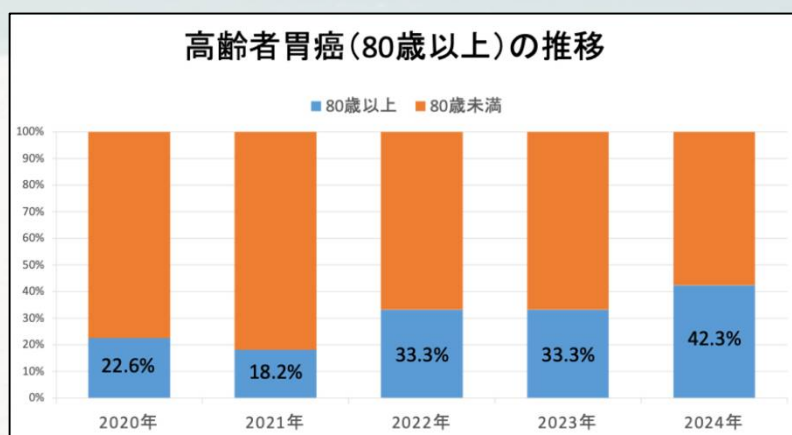


脳血管障害、変形性関節症などで治療、手術を予定している方に対して、治療前に口腔トラブルがないかをチェックし、口腔内細菌が全身へ影響を及ぼさないように専門的口腔ケア、口腔管理を行っています。また、**全身麻酔時の歯の保護**を目的として、動揺のある歯や前歯部に補綴治療（被せ物）を行っている場合には、マウスピースの作製を行っています。歯科衛生士2名とともに、手術前後の口腔ケア、化学療法や放射線治療による口腔粘膜炎、顎骨壊死の予防や口腔管理、入院患者さんの歯科治療を行い、医科での治療をサポートできる診療を心がけております。どうぞよろしくお願いいたします！

歯科 科長 山村佳子

消化器外科：高齢者(80歳以上)の胃癌手術

内閣府の「高齢社会白書」によると75歳以上の後期高齢者は2008万人に及び、総人口の16.1%とされています。実際に高齢化の波は当院総合外科の患者さんを見ても実感されます。当院における胃癌手術数の内訳を表に示しますが、**80歳以上の高齢患者さんは2020年で20%程度**でありましたが徐々に増加傾向にあり、**2024年には40%以上**となっております。当院では2022年に胃癌に対するロボット支援下手術を導入しており、現在80歳以上の高齢患者さんにも腹腔鏡下手術やロボット支援下手術を積極的に施行しており、術後平均在院日数は19日、合併症率は6.9%と良好な成績です。総合病院である当院の強みを生かし安全かつ精密な胃癌手術を提供できると考えています。胃癌と診断されましたら順天堂練馬病院総合外科に御相談ください。



総合外科 伊藤 謙